



わたしたちの 日本一 美しい村

2013

広報

# しらかわ

7 月号  
No.504

白川村では、麦が実った初夏の季節をあらわす「<sup>ばくしゅう</sup>麦秋」と呼ばれる風景が見られるようになりました。雪深い白川村では麦の生産は厳しいと言われてきましたが、白川村認定農業者の宇田学氏が5年前から大麦の生産に取り組み、現在は「ファイバースノウ」という品種を約6ヘクタール耕作。良質な大麦を生産することに成功しました！特に木谷・戸ヶ野地区では、まとまった農地で作付けが行われ、収穫期の黄金に輝く麦秋風景は壮観です。また収穫した大麦は、主に全農に出荷され麦茶などに加工。今後は、村の特産品開発にも大きく期待されています！

## 白川村の新風景「麦秋」 黄金に輝く大麦大地が村内に広がりました！

### CONTENTS

財政状況のお知らせ	2
議会だより	4
家庭ごみを減らしましょう	10
INFORMATION 暮らしの情報	14



the most beautiful  
villages  
in japan

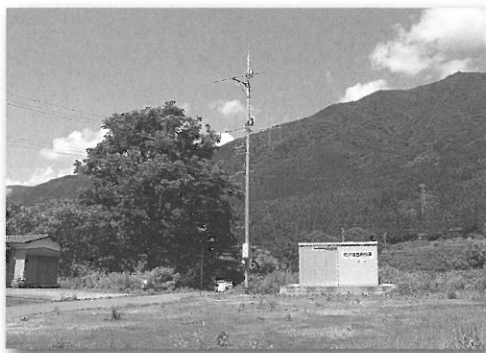
平成24年度

# 財政状況のお知らせ

下半期（平成24年10月～平成25年3月）



▲庁舎耐震補強改修事業



▲防災行政無線設備改修事業

## 特別会計現計予算合計額 11億7,211万円

収 入			特別会計名	支 出		
現計予算額	収入済額	収入率		現計予算額	支出済額	執行率
2億2,854万円	2億3,360万円	102.2%	国民健康保険 (事業勘定)	2億2,854万円	2億1,723万円	95.1%
1億181万円	1億285万円	101.0%	国民健康保険 (直診勘定)	1億181万円	9,472万円	93.0%
4,829万円	4,771万円	98.8%	簡易水道	4,829万円	4,762万円	98.6%
7,929万円	8,124万円	102.5%	温泉開発	7,929万円	7,484万円	94.4%
2,867万円	2,875万円	100.3%	白弓スキー場	2,867万円	2,691万円	93.9%
4億6,845万円	4億6,812万円	99.9%	公共下水道	4億6,845万円	4億6,701万円	99.7%
351万円	354万円	100.9%	介護保険 (サービス事業勘定)	351万円	46万円	13.1%
1億8,946万円	1億8,786万円	99.2%	介護保険 (保険事業勘定)	1億8,946万円	1億8,222万円	96.2%
2,409万円	2,341万円	97.2%	後期高齢者医療	2,409万円	2,312万円	96.0%
11億7,211万円	11億7,708万円	100.4%	合 計	11億7,211万円	11億3,413万円	96.8%

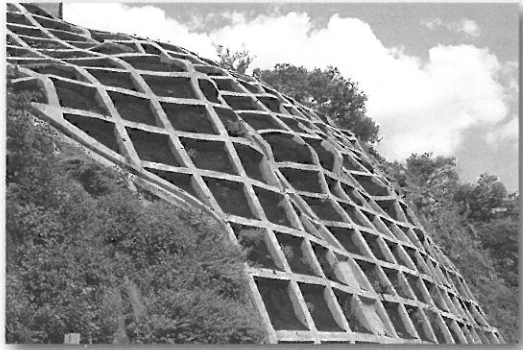
私たちの住む白川村では、どんな財源がどれくらい入り、どのように使われているのか、予算の内容を広く村民の皆さんに知っていただくために、地方自治法並びに村財政状況の公表に関する条例に基づき、年2回歳入歳出予算の執行状況をお知らせしています。今回は下半期10月～3月分の予算執行状況をお知らせします。

平成24年度の一一般会計の現計予算額は40億2,847万円です。予算の執行率は91.8%と低い数値となっております。要因としては、国の経済対策事業等による※翌年度繰越事業（繰越明許費）1億8,393万円及び、総務費財政調整基金積立金7,000万円の財源調整を実施したことなどによりです。主要な事業としては、安心安全な村づくりに向けた防災行政無線設備改修事業、平瀬幹線舗装補修事業、また、旧小学校跡地利用を体事業、並びに児童公園整備事業が行われました。

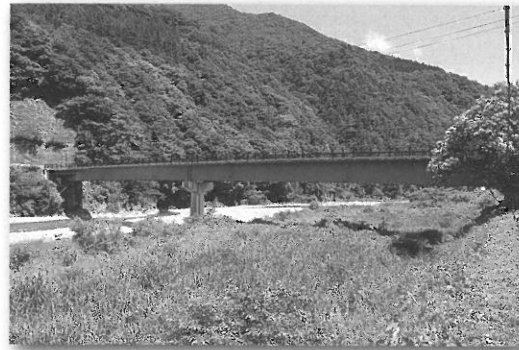
特別会計の現計予算額は11億7,211万円です。特に大きな工事はなく、特別会計は全体的に維持管理型予算の執行となりました。

※翌年度繰越事業（繰越明許費）：庁舎耐震補強改修事業、社会資本整備総合交付金防災・安全交付金事業、村道橋原芦倉線改良事業、飛騨白川PA排水路復旧事業

繰越明許費とは歳入歳出の経費のうち、その性質上または予算成立後の事由に基づき年度内にその支出を終わらない見込みのあるものについて、予算の定めるところにより、翌年度に繰越して使用することができ、繰越明許費を言います。



▲村道荻町戸ヶ野島線改良事業



▲村道木谷稗田線稗田橋改良事業

## 一般会計現計予算合計額 **40億2,847万円**

収 入			
区 分	現計予算額	収入済額 (うち繰越明許費)	収入率
村 税	7億4,066万円	7億2,985万円	98.5%
地方譲与税	2,200万円	2,347万円	106.7%
利子割交付金	69万円	69万円	100.0%
配当割交付金	52万円	52万円	100.0%
株式等譲渡 所得割交付金	12万円	12万円	100.0%
地方消費税 交 付 金	2,110万円	2,110万円	100.0%
自動車取得税 交 付 金	794万円	794万円	100.0%
地方特例 交 付 金	86万円	86万円	100.0%
地方交付税	13億798万円	13億989万円	100.1%
交通安全対策 特別交付金	0万円	0万円	0.0%
分担金及び 負 担 金	2,165万円	2,156万円	99.6%
使用料及び 手 数 料	7,730万円	7,891万円	102.1%
国庫支出金	4億1,076万円	3億3,938万円 (6,994万円)	82.6%
県 支 出 金	1億511万円	1億457万円	99.5%
財 産 収 入	5,141万円	5,495万円	106.9%
寄 附 金	4,931万円	4,906万円	99.5%
繰 入 金	5億1,875万円	5億1,628万円	99.5%
繰 越 金	4,952万円	4,952万円	100.0%
諸 収 入	1億3,779万円	1億4,411万円	104.6%
村 債	5億439万円	3億6,779万円 (5,980万円)	72.9%
後期高齢者医療 広域連合支出金	61万円	61万円	100.0%
合 計	40億2,847万円	38億2,118万円 (1億2,974万円)	94.9%

支 出			
区 分	現計予算額	支出済額 (うち繰越明許費)	執行率
議 会 費	3,186万円	3,162万円	99.2%
総 務 費	11億6,858万円	10億3,969万円 (4,958万円)	89.0%
民 生 費	2億7,495万円	2億6,729万円	97.2%
衛 生 費	1億726万円	9,961万円	92.9%
農林水産業費	1億5,822万円	1億5,710万円	99.3%
商 工 費	2億9,768万円	2億9,278万円	98.4%
土 木 費	9億9,232万円	8億5,895万円 (1億2,450万円)	86.6%
消 防 費	3億5,000万円	3億4,802万円	99.4%
教 育 費	3億2,001万円	3億322万円	94.8%
災害復旧費	1,407万円	422万円 (985万円)	30.0%
公 債 費	2億9,780万円	2億9,752万円	99.9%
諸 支 出 金	0万円	0円	0%
予 備 費	1,572万円	0円	0%
合 計	40億2,847万円	37億2万円 (1億8,393万円)	91.8%

6月20日(木)第2回白川村議会定例会が行われまし

た。議会では、飯島観光開発株式会社

の経営状況報告の他、補正予算や各議案について

審議され、全て原案どおり可決されました。

主な内容は次のとおりです。

□白川村固定資産評価審査委員会の委員の選任について

地方税法の規定に基づき、白川村固定資産評価審査委員を選任しました。

大倉 敏之氏(平瀬) 任期

平成25年6月20日  
平成26年5月31日

□白川村議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当

に関する条例の一部を改正する条例について

常任委員長の業務増加に伴い、同委員長の報酬を増額するため改正しました。

改正前 14万5千円  
改正後 15万5千円

□白川村特定公共賃貸住宅の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について

地方分権改革推進計画等に基づく義務づけ・枠付けの見直しによる改正により条文を整備しました。

□白川村税条例の一部を改正する条例について

地方税法の一部が改正されたことにより条文を整備しました。

□白川村新型インフルエンザ等対策本部条例の制定について

白川村自然共生フォーラム代表理事

渡邊 浩之氏(馬狩) 期間

平成25年7月1日  
平成28年3月31日

□白川村学校給食センター設置条例の一部を改正する条例について

給食センター長を教育委員会事務局職員が兼務できるように改正しました。

□指定管理者の指定について

地方自治法の規定に基づき、大白川野営場の指定管理者を指定しました。

特定非営利活動法人

白川郷自然共生フォーラム

めには議会事務局の強化が必要と考え、調査業務等を含めて書記となる人材を考えていただけませんか。議会事務局の強化を図ることで議員が行政に対する監視力もできる。業務職員でなく議員とともに仕事を

する職員が必要であり、議員の質及び議会活動を更に向上させることや、議会費の増額も理想と考えるが意見をお聞きしたい。

## 平成25年度補正予算

### □一般会計(第1回)

増額: 7,140万0千円

計: 29億4,140万0千円

増額の主なもの: 商工費、消防費、予備費など

### □国民健康保険特別会計(第1回)

(事業勘定)

増額: 1,005万6千円

計: 2億2,056万6千円

増額の主なもの: 後期高齢者支援金、予備費など

(直診勘定)

減額: 227万1千円

計: 9,802万9千円

減額の主なもの: 一般管理費など

### □簡易水道特別会計(第1回)

増額: 238万1千円

計: 6,451万1千円

増額の主なもの: 一般管理費など

### □温泉開発特別会計(第1回)

増額: 67万2千円

計: 6,937万2千円

増額の主なもの: 一般管理費

### □白弓スキー場特別会計(第1回)

歳入歳出の総額に変更なし

### □公共下水道特別会計(第1回)

減額: 190万7千円

計: 2億3,399万3千円

減額の主なもの: 施設整備費など

### □介護保険特別会計(第1回)

(保険事業勘定)

増額: 503万2千円

計: 1億8,413万2千円

増額の主なもの: 予備費

(サービス事業勘定)

増額: 17万1千円

計: 3,677万1千円

増額の主なもの: 予備費

### □後期高齢者医療特別会計(第1回)

減額: 5万3千円

計: 2,554万7千円

減額の主なもの: 予備費

## 一般質問

議会基本条例制定に向けて

(高桑議員)

Q、議会基本条例の制定に向け、議会改革特別委員会を設置した。議会改革を進めるた

明化を図りたい。全国の取り組みではケーブルテレビやインターネット等で放送されている。しかし、村の場合、たとえ名前を伏せても分かる内容も存在することから、議会の透明化についての見解をお聞きしたい。

A、現状では、議会の傍聴も可能であり、広報などでも周知しています。但し、傍聴がない会議もありますので、その内容を村民に正しく周知し認識していただくため、議会と執行で考え、村民と情報共有する方法を検討するべきだと考えます。

Q、通年議会を白川村に導入したいと考える。議会改革特別委員会で村独自の通年議会を検討するため、村の見解をお聞きしたい。

A、執行と議会の日程調整など課題はありますが通年議会を開催することによって、常任委員会や特別委員会などが常に開催できることは良いことだと考えます。この件についても様々な意見があると思いますので議員皆さんと一緒に検討させていただきます。

企業誘致を含めた雇用・産業創出への対策について

(高桑議員)

Q、企業誘致対策特別委員会を設置した。企業の進出等に対しスピード感を持って審議

に取り組みたいと考えるが、目途が立っている企業誘致についてお聞きしたい。

A、今後2・3年の間に共立メンテナンスのホテル及びアパート建設等や林青果の漬物工場を予定、3・4年の間に富山県の業者と食産業に関する工場進出について交渉、平成28年までに大垣市の酒造会社の進出について交渉、5・6年の間に養豚・民間の老人福祉施設の進出について交渉を進めています。村の人口が2,000人を超えるまで、企業誘致を進めたいと考えます。

Q、世界遺産地区への観光車両乗り入れ制限を進める中で南北の駐車場等に関わる整備が進められた場合、村内で生産される物産の販売ブースが必要である。その考えをお聞きしたい。

A、企業誘致だけでなく、村内の生産物を活用するため、新しい販売ブースの整備については、維持経費等を含め、採算が取れるのか検討が必要

ですが、既存する道の駅等の公共施設、民間の販売施設を有効活用し、村内の生産物を出来る限り利用いただくことで、販売促進することが大切であると考えます。また、村内の食産業に関わる方々への生産物を活用する支援も必要であり、一体となった地産地消をお願いします。

空き家対策について

(大田議員)

Q、移住定住対策として空き家活用は大変良いこと。6次産業化を進め、空き家のない村づくりを目指していただきたいが、景観・防犯上危険が生じ、放置されている物件に対し、解体助成または行政代執行などが出来ないか。また荻町地域の空き家対策に向けて「売らない・貸さない・壊さない」の3原則についての考えをお聞きしたい。

A、法律上、行政代執行に該当する規模の空き家は白川村に存在しません。解体に関しては、所有者が行うことが基本ですが、過去に近隣の方や、親戚の方の協力によ

って解体が行われたことがありません。空き家の所有者が不明にならないよう注意喚起を行います。また、荻町市内の空き家も今後増えることが予想され、課題になると考えられます。将来的な空き家対策に向かつて3原則を守り続けることが真正に守ることに繋がることなのか、特に3原則のひとつ「貸さない」について、今後は守る会や地域の方たちと検討が必要と考えます。

国道156号福島第1〜第2トンネル等の改良整備促進について

(松井議員)

Q、平成22年福島第3トンネルが完成し3年目を迎えたが、引き続き第1〜第2トンネル改良を望む。今後の見通しについてお聞きしたい。また関連して牧坂の登坂車線の整備について内容等お聞きしたい。

A、福島第1トンネルについて、今年度環境調査費と基本設計の県予算が計上されました。平成26年度から数年かけてボーリング調査も行われる

予定であり、数年以内に着工が見込まれます。牧坂の登坂車線の整備については、東海北陸自動車道を通行できない危険車両の通行、また長距離トラックや普通車両の通行に安全を確保できるよう事業採択されましたが、事業計画等はこれからですので全容が見えてきた時点で報告します。国道156号の整備促進を図るため今後も要望活動を積極的に展開したいと考えます。

世界遺産地内の白川診療所跡地利用計画について

(小坂議員)

Q、荻町集落内の車両進入制限の方針が決定し、白川診療所の移転計画も協議されているが、その跡地利用についてお聞きしたい。

A、荻町区の交通対策に関する要望の中で、白川診療所の移転と其の後の跡地利用として、北側飲食店の貸し切りバス及び身障者等の専用駐車場と公衆トイレを含む整備運用を望んでいます。長年の課題であった車両進入制限への決断や有料駐車場問題の解決

策も含まれており、この荻町区の英断に應えるため、村は前向きに検討することを伝えました。世界遺産を守る更なる一歩として踏み出していきたいと考えます。

村の公共上水道水源地域保全について (川田議員)  
Q、県水源地域保全条例が4月に施行された。白川村の上水道の水源にも大きく関わり、水資源は恒久財産である。村としてどのように考えるかお聞きしたい。

A、白川村では、牧・大郷・小白川地区の簡易水道に関わる3ヶ所が水源地域保全の指定候補地となります。半径2キロの範囲を指定する予定ですが、この範囲で問題ないか、また他の地域の水源地の指定は必要なのかなど県と協議し、情報収集しながら水源地の保全に努めたいと考えます。

高校生バス通学について

(川田議員)

Q、東海北陸自動車道が開通し、高校生のバス通学が可能

になったことを嬉しく思う。しかし、多数の学生が乗降するバス停であっても屋根もなく雨の中で待つ場所もある。また定期券の費用についても負担が大きい。白川村を担う子供たちのために村の補助又は、バス会社に料金助成の協力をお願いするような考えはないかお聞きしたい。

A、現在、46名の高校生がバス通学や下宿をしています。特に荻町地内や鳩谷地内でバス利用者が多いですが、屋根がない場所があります。荻町地内は世界遺産地区内であり慎重な検討が必要であります。鳩谷地内のバス停については便利な乗降が出来るようバス会社と協議を進めたいと考えます。また定期券の補助については、バス通学だけでなく下宿する学生もいますので平等性に欠ける助成は控えたいと考えます。今年度から、第三子以降及び片親家庭の高校生について、月額一百万円の補助を実施しています。

## (株)三輪酒造から 寄付金をいただきました!

10万円を「世界遺産白川郷合掌集落保存基金」へ



6月10日(月)株式会社三輪酒造代表取締役社長の三輪高史さんらが役場を訪れ、寄付金を贈呈いただきました。三輪さんは世界遺産白川郷合掌集落保存基金へと10万円を寄付。成原村長は毎年の訪問に感謝を伝えました。

## 白川電気土木(株)から 寄付金をいただきました!

500万円を「白川村坂本教育振興基金」へ



6月12日(水)白川電気土木株式会社取締役社長の坂本英雄さんらが役場を訪れ、寄付金を贈呈いただきました。坂本さんは、同会社の設立60周年記念事業として「白川村坂本教育振興基金」に寄付したいと500万円の目録を成原村長へ手渡しました。同基金では白川村の子供たちのために、毎年専門的な知識や教養を学ぶための図書を購入し、教育振興に役立てられています。

## イオンリテール(株)から 寄付金をいただきました!

「ひだ白川郷WAON」利用金額の一部約121万円を白川村へ

6月5日(水)イオンリテール株式会社から、地域貢献型「ひだ白川郷WAON(ワオン)」の利用金額の一部、121万1,966円を白川村へ寄付いただきました。今回で3回目の訪問となり、同東海カンパニー名岐事業部長永山久美子さんから「白川村の合掌造り集落の保存活動に少しでも貢献できれば」と寄付金の目録を贈呈。また村長からは、この取組みに敬意を表し感謝状が贈られました。



地域貢献型の「ひだ白川郷WAON」カードは、イオン店舗をはじめ、コンビニや飲食店など全国約16万カ所で使えるチャージ式のカードです。イオンの他、白川村の観光案内所やお土産店で購入できますので大勢の方にこのカードを利用いただき、地域貢献にご協力をお願いいたします。